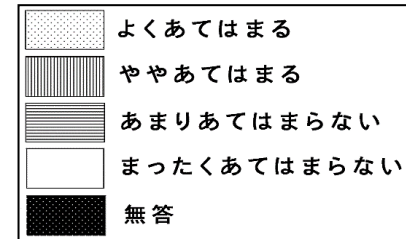


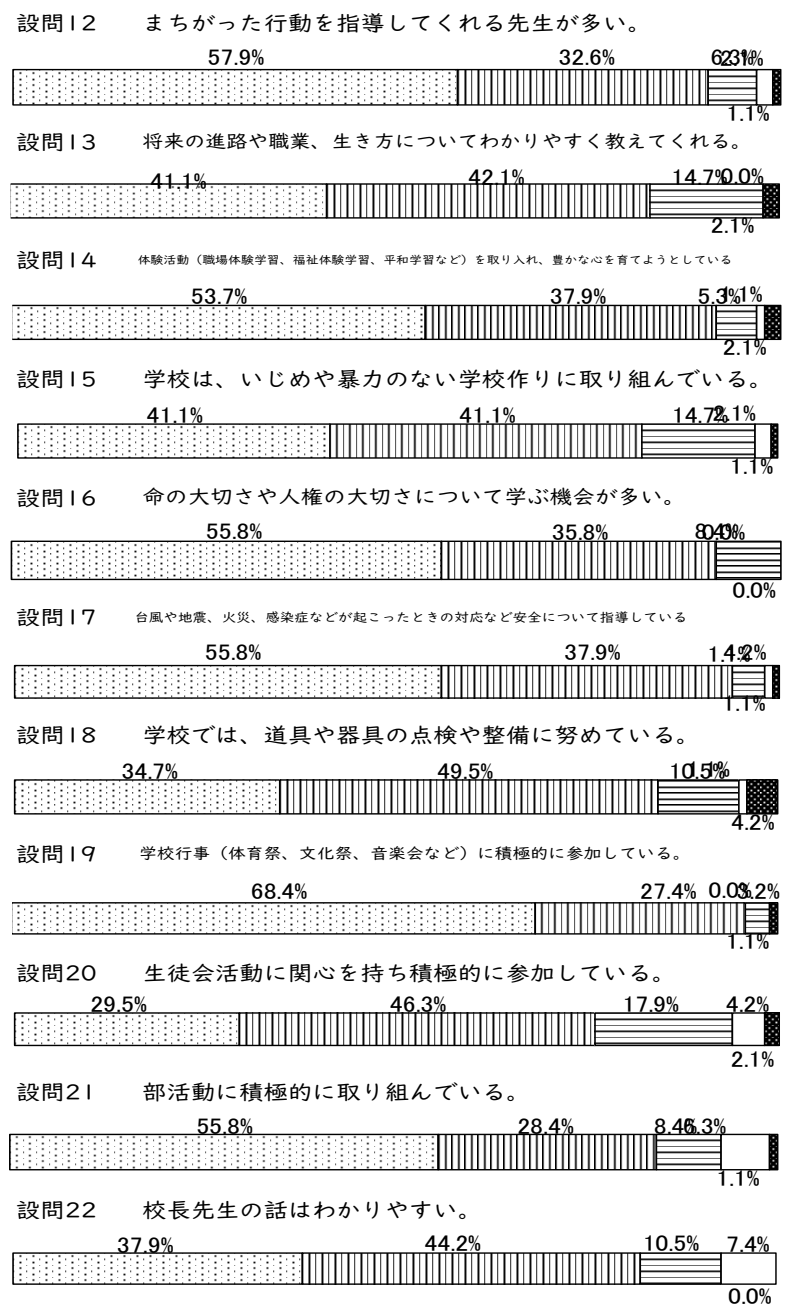
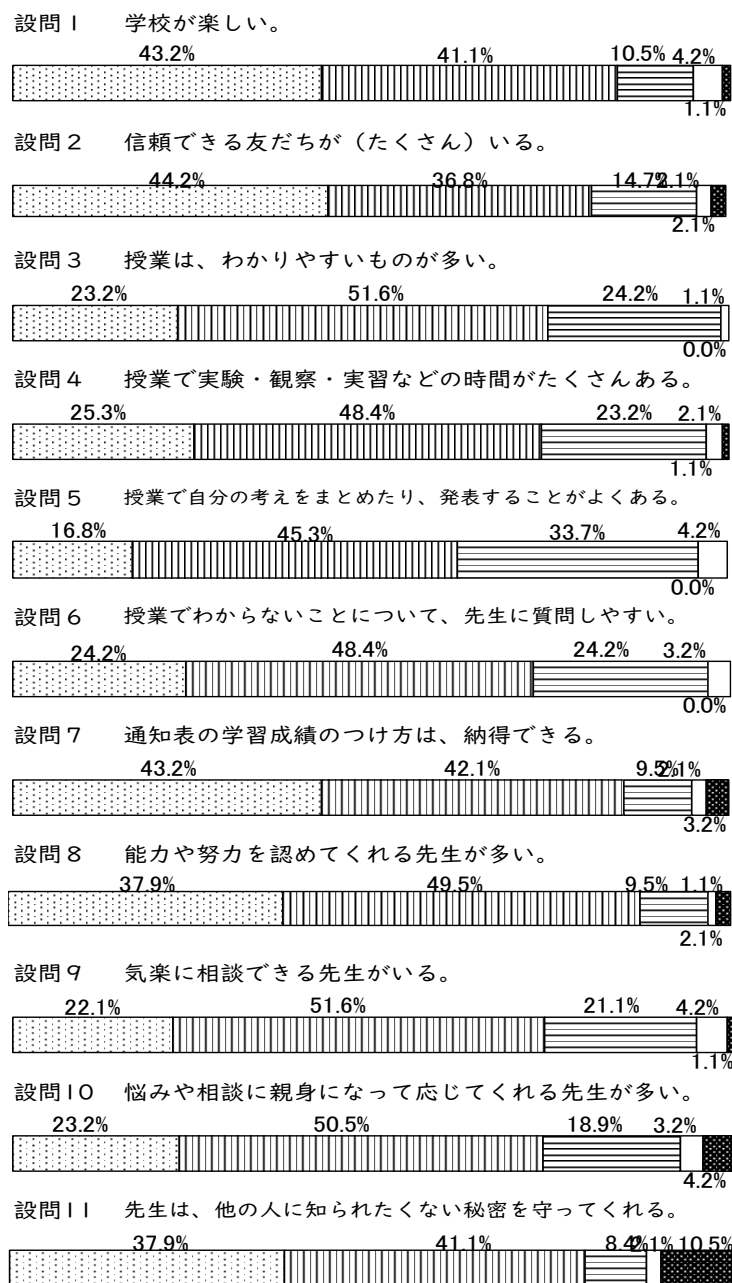
今年度は「新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業」という異例のスタートとなりました。学校再開後も、毎日「検温、体調の確認、手指消毒、マスクの着用、距離をとるなど」感染予防対策にしっかり取り組んできました。

このことは『台風や地震、火災、感染症などが起こったときの対応など安全について指導している』の項目で、生徒アンケートで肯定的回答が94%、保護者アンケートで95%をこえる高い評価となっています。感染症対策については、学校での指導だけでなく、日々、生徒そして保護者の一人ひとりの協力があることは言うまでもありません。

保護者の皆様には、日常の生徒の健康管理だけでなく、学校行事参加の際、「体温や風邪諸症状の有無の記入、手指の消毒、マスクの着用、距離をとるなど、感染症対策にもご協力いただきました。感染症対策については、引き続き気を抜かず、しっかり取り組んでいかねばならないことであります。



生徒集計結果



令和2年度【学校教育自己診断】生徒アンケートより

現在、落ち着いた状況で学校生活を送っており、結果はおおむね昨年と同様の傾向が見られました。96%の生徒が『学校行事に積極的に参加している』と答え、8割以上の生徒が『学校が楽しい。』『信頼できる友だちが(たくさん)いる。』と答えています。

『授業は、わかりやすいものが多い。』『授業で実験・観察・実習などの時間がたくさんある。』という項目が、年々伸びてきています。『授業で自分の考えをまとめたり、発表することがよくある。』という項目は、年度当初新型コロナウイルス感染防止対策としてグループ学習を控えていたことがあり、数字が大きく伸びた昨年に比べ減少していますが、一昨年と比較すると肯定的評価が増えています。また、発表を取り入れた山滝中学校の授業形態がスタンダード化した結果ととらえることもできます。引き続き、グループ学習を取り入れ、自分の考えをまとめたり、発表する機会を増やしていきたいと思えます。

9割を越える生徒が「まちがった行動を指導してくれる先生が多い。」と答えています。それに対して『気楽に相談できる先生がいる』『悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い』の回答は74%であり、指導の場面は必ず必要だが、それとともに信頼関係を作るために、教師と生徒の何気ない会話を増やしていく必要があると考えます。

『将来の進路や職業、生き方についてわかりやすく教えてくれる。』『体験活動(職場体験学習、福祉体験学習、平和学習など)を取り入れ、豊かな心を育てようとしている』の回答は、年々増加傾向にあります。今年度より学期末等にキャリアパスポートを用いて、キャリア教育の大切さを示し、将来について考える機会を多く作っています。